

市報うんなん Unnan

3

2026 No.256

特集

「幅広い情報をお届けします」

雲南市の広報の取り組み (2ページ)

今月の表紙：久野地区振興会「ふれあい餅つき会と節分豆まき」(久野交流センター)



Instagram で
市の魅力を発信中！

YouTube 市公式チャンネル

「こんにちは市役所です」（毎月配信）など市の取り組みや魅力を発信しています。

●チャンネル登録者数：
1,190人（2月13日現在）



チャンネルホーム画面

市ホームページ

市からの情報を随時更新し、いつでもどこでも市の情報が取得できます。検索性、操作性、ウェブアクセシビリティ（高齢者や障がい者を含む全ての人々が、ウェブサイトで提供される情報や機能を支障なく利用できること）の向上に努めています。

令和7年度島根県広報コンクールにおいて、ウェブサイト（市部）の部門で特選を受賞し、全国推薦をいただきました。



ホームページトップ画面

フェイスブック 市公式アカウント

市内の主な出来事やイベント情報などを発信しています。平成25年度の開設以降、投稿数は6,500件を超えました。

●フォロワー数：11,014人（2月13日現在）



▲市公式アカウント

Instagram 市公式アカウント

令和5年に開設しました。facebookでは情報が届きにくい若い世代をターゲットの中心に据え、特に「人、自然、歴史、食の幸」に関する市の魅力を発信しています。これまでの投稿数は約200件ですが、今後はより高頻度の投稿をめざしていきます。

●フォロワー数：1,440人（2月13日現在）



▲市公式アカウント

雲南市公式アプリ

スマートフォン・タブレット用公式アプリです。市からのイベント情報、子育て情報などを使いやすいアプリから確認できます。

<ダウンロードはこちらから>

下記リンク先からiOSまたはAndroidを選択してダウンロードしてください。



▲公式アプリダウンロードサイト

LINE 市公式アカウント

コミュニケーションアプリ「LINE」を活用し、市からのお知らせなどを配信するほか、メニューをタップすると市の情報を閲覧することができます。緊急時には避難情報などを配信します。スマートフォンなどのアプリにて「友だち」登録することで利用できます。ぜひ、「友だち」登録をお願いします。

●友だち登録者数：4,170人（2月13日現在）

<メニューから閲覧できる項目>

- ①ハザードマップ、指定避難所
- ②ごみ処理、健診（検診）、医療機関、市民バス
- ③行政文字放送、市報うんなん など
- ④市立病院のA I 問診
- ⑤子育て情報 ⑥移住・定住情報

右記の二次元コードをスマートフォンやタブレットで読み取ると「友だち」登録できます。



▲LINEアプリ画面

「幅広い情報をお届けします」 ～雲南市の広報の取り組み～

【問】広報広聴課 Tel.0854-40-1015

雲南市では、令和7年度から10年間の「第3次雲南市総合計画」により、基本理念を「変わらず、変える」、めざす将来像を「えすこな雲南市」と定め、みんなが幸せに暮らせる持続可能なまちの実現をめざしています。

総合計画を進め、実現させるためには、その理念や進める施策、具体的な取り組みなどについて、幅広い情報がしっかりと市民の皆さんに「届く」ことが何より重要です。

そこで、市が取り組む情報提供（広報）の媒体、その特徴などについて紹介します。自分に合った情報を得やすい手段を活用してみてください。

市報うんなん

毎月発行しています。自治会配布による各世帯への配布のほか、市内のさまざまな施設に設置するなど、手に取りやすい環境づくりに努めています。令和7年島根県広報コンクールに出品した令和7年10月号が入選し、5年連続の入選となりました。

<市報を設置している主な施設>

- 市役所本庁舎、総合センター
- 交流センター
- 図書館
- 体育・文化施設
- 道の駅
- ショッピングセンター・コンビニエンスストアの一部

市報の構成は号によって変わる部分もありますが、主には次のような構成になっています。



▲令和7年10月号の表紙

表紙

主に市内で行われた象徴的な行事や、地域での取り組みに参加された皆さんの表情など、中を読みたくくなる表紙をめざしています。

特集

特に知っていただきたい市の取り組みや、その号が発行される季節に応じたお知らせなど、その号の顔となる記事です。

うんなん日和

市内で行われたさまざまな取り組みを、なるべく幅広く取り上げて紹介しています。

わが家のHOPE

発行月で満1歳になるお子さんの画像などとメッセージを募集し、応募があった方々を紹介しています。

市役所からのお知らせ

暮らし・手続き、子育て・保健・福祉、募集など、市民の皆さんの生活に役立つ情報を中心に掲載しています。

連載コーナー

チャレンジ関連、国際交流員「マイストーリー」、高校生ニュース・小中学生ニュースなど
それぞれの分野における取り組みの内容を毎月の連載でお届けしています。

その他個別記事

不定期での連載やその号に限った記事などもあります。その月にどんな記事があるか、ご期待ください。

イベント情報（裏表紙）

その月に行われる市内でのイベント情報を中心に掲載しています。お出掛けの予定を立てる参考にしてみてください。

第52回掛合トランプワールドカップ

2月1日、第52回掛合トランプワールドカップが掛合トランプ同好会（竹下三郎会長）の主催により掛合まめなかセンターで開催され、24人が出場しました。

掛合トランプは、2人がペアになり2対2のチーム戦で競い、随所に思考を巡らせる要素があることが特徴です。今年は県外在住の初心者の方の参加もあるなど、例年以上の盛り上がりでした。朝から夕方まで一心不乱にトランプが行われ、「世界チャンピオン」の栄誉には大井幸喜さん（掛合町）が輝きました。



▲競い合う出場者たち

地域で育む青少年の社会参画 青少年育成県民運動推進フォーラム

2月1日、青少年育成県民運動推進フォーラムが青少年育成島根県民会議と雲南市青少年健全育成協議会の主催により木次経済文化会館チェリヴァホールで開催され、約100人が参加しました。

少年の主張島根県大会の県知事賞受賞者による発表、市内外の学校や団体による取り組み紹介、青少年の思いを聴く「わかもの会議」が行われ、市内の中高生も参加しました。その後に参加者による意見交換や発表が行われ、地域でどのように青少年を応援していくのかを考えるきっかけとなる1日となりました。



▲わかもの会議の様子

久野地区振興会 ふれあい餅つき会と節分豆まき

2月1日、「ふれあい餅つき会と節分豆まき」が久野地区振興会（落合孝司会長）の主催により久野交流センターで開催され、約60人が参加しました。

「やさしさと思いやり」をテーマに、節分の鬼もいっしょに参加者全員で餅つきを行い、「鬼は外」と敵対するのではなく、思いやりを持って同じ時間を過ごす、ふれあいの場となりました。餅つきのあとは、地域の方々が作った豚汁と餅を鬼たちもいっしょに食べて交流を深めました。



▲鬼といっしょに餅つきをすることも

三刀屋町多久和の「堂餅行事」

2月1日、三刀屋町多久和地区の壽福寺で、平安時代から続く毎年恒例の「堂餅行事」が行われました。

前日に「大餅の搗きあげ」が行われ、地区の当番の方々が千本杵で直径80cmの大餅を2つ搗きあげました。当日は観音堂までの約100mの間で地元の皆さんが「堂餅引き行列」を行い、地域の方などが見物に訪れました。今年は10年振りに堂餅を落とし合っ



▲堂餅引き行列の様子

第20回広島雲南市ふるさと会総会

1月17日、第20回広島雲南市ふるさと会総会がメルパルク広島（広島市中区）で開催され、ふるさと会の会員や市関係者など56人が参加しました。

総会後の懇親会は会員による歌の披露で始まり、雲南市の地酒による乾杯や特産品が当たるビンゴ大会、じゃんけん大会なども行われました。会場内では雲南市の特産品販売やふるさと納税のPRブースなどが設けられ、交流をしながら20回目となる節目の会を祝いました。



▲総会の様子

株式会社ホンダカーズ島根・雲南市 災害時における車両の提供等に関する協定書締結式

1月20日、株式会社ホンダカーズ島根と雲南市との間で「災害時における車両の提供等に関する協定書」を締結しました。

本協定は、災害時に停電が発生した場合に、避難所における非常用電源として電気自動車を生かすことで、冷暖房や充電など、電気供給体制をさらに充実させることが目的です。締結に際し株式会社ホンダカーズ島根の青野武文専務取締役から「当社の持つモビリティの強みを生かすことで、地域防災に貢献していきたい」とあいさつがありました。



▲協定書締結式の様子

第25回ラメール小中学校管弦打独奏コンクール

1月25日、小・中学生を対象とした管弦打楽器の独奏コンクールが、加茂文化ホールラメールを会場に、株式会社キラキラ雲南の主催で行われ、県内で音楽を学ぶ学生の皆さんが参加しました。

参加者60人はそれぞれ自由曲を演奏。緊張の中、舞台上で自分の力を出し尽くす熱演に、会場は大きな拍手に包まれました。

【雲南市からの上位入賞者】
金管楽器部門 第2位 経種 ゆいさん（トランペット・加茂中3年）
打楽器部門 第3位 経種 颯志さん（マリンバ・大東中2年）



▲トランペットを演奏する経種さん

脱炭素フォーラム・地域エネルギー転換人材育成事業 円卓えすこ会議

1月27日、脱炭素フォーラム・地域エネルギー転換人材育成事業「円卓えすこ会議」を木次経済文化会館チェリヴァホールで開催しました。

今年度、市内で開催してきた脱炭素に向けた各種取り組みの報告と、それらを踏まえて、住民、事業者、学生、行政で今後の可能性を話し合う円卓会議として行いました。ゲストとして平岡俊一さん（滋賀県立大学准教授）と小熊祐子さん（慶応義塾大学教授）にも参加いただき、参加者たちは今後取り組みを広げていくためのチャレンジについて活発に意見交換を行いました。



▲円卓形式で話し合う参加者たち

木次線応援コミックス



「さかねとつむぎとキスキ線」

を読んでみてください



木次線応援コミックスは、木次線の魅力を多くの方々に知ってもらいたいと、漫画編集者の江上英樹さん、漫画家のたこばいそんさんが中心となって制作されました。

コミックス制作にあたってクラウドファンディングで支援を募り、目標金額300万円に対して約580万円の支援が集まりました。

令和7年12月に開催された「元気いっぱい！木次線まつり」の中で、完成記念セレモニーが開催され、地元の方々にもぜひ読んでいただきたと木次線利活用推進協議会に500部寄贈いただきました。

寄贈いただいたコミックスは次の場所に配布しています

雲南市と奥出雲町の

小学校、中学校、高等学校、総合センター、木次線有人駅、交流センター、公民館、観光協会、図書館、郵便局、金融機関 など

今後も、できるだけ多くの方々に読んでいただけるよう配布を続けていきます。ぜひ、一度手に取って読んでみてください。



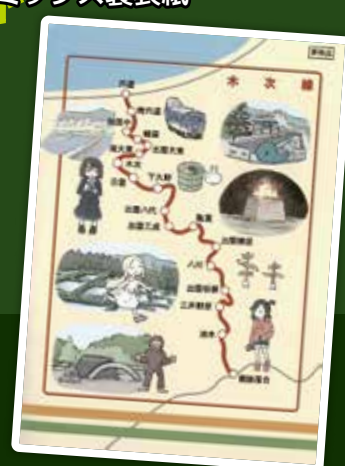
完成記念セレモニーでコミックスを紹介するたこばいそんさん(左)と江上英樹さん(右)

© たこばいそん / 木次線応援プロジェクト

コミックス表紙

コミックス裏表紙

コミックスの一コマ



ストーリー

家庭の事情で都会から山深い奥出雲の地に引っ越してきた女子高生つむぎ（紬）。仲の良い友人たちとも離れ、ボツンと暮らし始めたとき、感じる孤独と不安。「あたしはこれが好き！これがあたしの趣味だ！」と言えるものさえ持っていない自分に改めて気づき、愕然とする中、つむぎは自宅にほど近い山間の小駅「出雲坂根」で不思議な少女に出会う。

「さかね」と名乗るその少女は、木次線、そして出雲坂根の魅力を、鉄道愛たっぷりに熱く語り始める。果たして彼女は何者？

引っ込み思案のカメラ少女まこと（真）も加わって、3人で繰り広げる木次線体験。出雲坂根のスイッチバックをジグザグしながら少女たちの心は少しずつ……。

神話と現実が交錯する、この奥出雲の地に多くの笑い声がこだまする日は、果たしてやってくるのだろうか？

© たこばいそん / 木次線応援プロジェクト



「第14回 健康寿命をのばそう！アワード」 厚生労働大臣優秀賞を受賞！

厚生労働省・スポーツ庁主催による「第14回 健康寿命をのばそう！アワード」において、身体教育医学研究所うんなが長年にわたり実施してきた地域全体の運動実施率向上に関する取り組みが評価され、厚生労働大臣賞のうち、自治体部門優秀賞を受賞しました。

11月26日、日経ホール（東京都千代田区）において厚生労働大臣賞を決定する審査会が行われました。全国の企業・団体・自治体103件の応募の中から、2度の書類選考を経て最終審査に残った6団体が最終プレゼンテーションを行った結果、雲南市は自治体部門の優秀賞を受賞しました。

運動不足に陥りがちな中山間地域において、限られた資源を有効に生かし、自治体主導による科学的かつ持続可能な健康づくりモデルを地域ぐるみで構築している点が、他地域の模範となる取り組みとして高く評価されました。

引き続き、科学的知見を基盤としつつ、地域の皆さんをはじめ多分野の皆さんとの連携協働の体制を一層強化し、より多くの方が身体活動・運動に取り組み、いきいきと生活できる環境づくりを進めていきます。

「第14回 健康寿命をのばそう！アワード」表彰式

主催：厚生労働省・スポーツ庁



▲表彰式の様子(右：西村副市長)



▲発表する身体教育医学研究所うんな
北湯口副所長



▲記念撮影

事業名称

マーケティング×地域ぐるみで進める身体活動促進のポピュレーション戦略

事業内容

社会全体で運動不足が課題となる中、地域全体で運動実施率を高める効果的な方策が求められている。平成21年からこの課題に取り組み、モデル地域での5年にわたる地域ぐるみの運動普及により、地域全体の運動実施率の向上に成功。その成果を踏まえ、平成28年から取り組みの全市化を図り、直近の効果検証でも運動実施率の向上を確認。島根県の健康寿命指標において雲南市は平成21年以降、男女とも県平均を一貫して上回る水準で推移しており、全市的な身体活動促進により健康寿命の延伸にも貢献した。

【問】身体教育医学研究所うんな Tel 0854-49-9050

フォーカス
FOCUS

病院では毎年さまざまな職種のスタッフが入職し、働いています。これからたくさんの方の知識と経験を積み、雲南市立病院というステージで患者さんのために活躍していく新入職員にフォーカスし、それぞれの担当業務や仕事への思いなどを紹介します。

新入職員紹介

地域医療を支える
診療放射線技師をめざして

放射線技術科

つぼくら なおき
坪倉 直輝

診療放射線技師をめざしたきっかけは？

高校生の頃、病院で検査を受けた際、診療放射線技師の方が丁寧に説明を行い、正確に検査を進めている姿を見ました。その姿から、医療の現場で専門性を生かして人の役に立てる仕事だと感じたことがきっかけです。

雲南市立病院の魅力はなんだと思いますか？

患者さん一人ひとりに寄り添った検査を行い、地域に根ざした医療を提供できる環境が整っている点に魅力を感じています。

また、地域の方々の生活に身近な存在として、継続的に地域医療を支えていることも大きな魅力だと感じています。

仕事には慣れましたか？

業務の流れや基本的な検査には慣れてきましたが、まだ判断に迷う場面もあります。その際には、先輩方からさまざまなことを教えていただきながら、日々精進しています。

職場の雰囲気はどうですか？

分からないことがあっても相談しやすく、先輩方が丁寧に教えてくださる職場だと感じています。

また、落ち着いた雰囲気の中で、安心して業務に取り組んでいます。

仕事をするうえで嬉しかったことはありますか？

一般撮影やCTなどの業務を一人で落ち着いて対応できるようになったときです。少しずつではありますが、知識や技術が身に付き、自身の成長を実感できることを嬉しく感じています。

今後の目標を教えてください

地域医療を支える一員として、検査を確実にこなすよう、知識や技術の向上に努めていきたいと考えています。地域の方々から信頼される診療放射線技師をめざします。

私のとある一日

- 8:30 出勤
機器の始業点検
外来検査業務（一般撮影、CT、MRI、骨密度、マンモグラフィ、歯科撮影、X線透視）
- 12:00 休憩
- 13:00 入院検査業務（手術室、内視鏡室、X線透視検査）
- 16:30 機器の終業点検
片付け
- 17:15 退勤



雲南病院だより

鼻の調子はいかがですか？



耳鼻いんこう科 統轄副院長 佐野 啓介

今年も花粉症の季節がやってきました。皆さん、鼻の調子はいかがですか。国内におけるスギ花粉症の有病率は38.8%で、3人に1人以上が症状に悩まされ、またこの10年間で10%増加したと言われています。花粉症の主な症状はくしゃみ、鼻汁、鼻づまり、目のかゆみですが、ティッシュが手放せない、外に出られないといった方もいると思います。



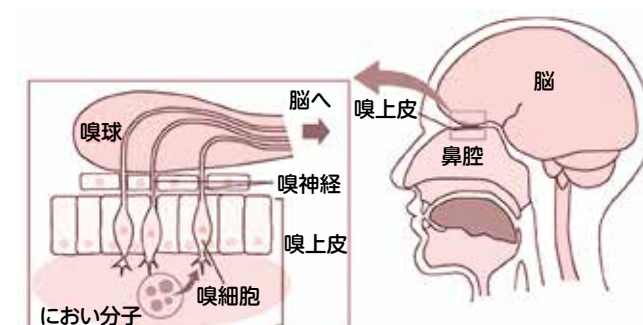
花粉症に悩まされている皆さんの中にも、急に匂いが分からなくなった、食事の香りが分からず味も分りにくい、といった症状でお悩みの方も多いと思います。

嗅覚障害の原因は、アレルギー性鼻炎（花粉症）、慢性副鼻腔炎、鼻中隔湾曲症などで空気の通り道が狭くなり、匂いが嗅神経に届かない場合と、新型コロナウイルス感染症、他のウイルス感染症などにより嗅神経自体がダメージを受ける場合に分けられます。

花粉症に悩まされている皆さんの中にも、急に匂いが分からなくなった、食事の香りが分からず味も分りにくい、といった症状でお悩みの方も多いと思います。

嗅覚障害の原因は、アレルギー性鼻炎（花粉症）、慢性副鼻腔炎、鼻中隔湾曲症などで空気の通り道が狭くなり、匂いが嗅神経に届かない場合と、新型コロナウイルス感染症、他のウイルス感染症などにより嗅神経自体がダメージを受ける場合に分けられます。

しかしどちらにも共通するのは、匂いが分からない状態を放置すると治りにくくなるので早めの治療が必要ということです。新型コロナウイルス感染症後に多くの患者さんが嗅覚障害を発症されたことにより、嗅覚障害についての基礎研究も進み、治療法についての新たな知見がたくさん得られました。その中で分かったことは、早く治療すれば治りやすいことと、少しでも感覚が残っていれば嗅覚刺激をすることで再生する能力があるということです。



匂いを感じるメカニズム

治療には手術や生物学的製剤といった新しい薬を必要とする場合もあります。

雲南市立病院耳鼻いんこう科では島根大学と連携し、最先端の内視鏡下副鼻腔手術（ESS）を行う設備を整え、難治性の慢性副鼻腔炎や鼻中隔湾曲症などで手術を必要とする患者さんに治療を行い良好な治療効果を得ています。

慢性副鼻腔炎に特有の膿性鼻汁や鼻づまり、頭が重いなど鼻の調子が気になる、特に最近匂いの感覚が今一つとお困りの方はぜひ早めに耳鼻いんこう科にご相談ください。



まちづくり工房
うんなん
活動記第4回 「顔を合わせて話すことから、
安心は生まれる」

まちづくり工房うんなんでは、地域の皆さんと雲南市立病院をつなぐ取り組みとして、各地区の交流センターを訪問し、医療や福祉についての意見交換を続けています。

今回の活動では、大東町内の複数の交流センターを訪問し、地域の役員や福祉担当の方々、病院の医師・職員の皆さんとともに、日頃感じておられる思いや疑問、不安について、じっくりとお話を伺いました。

意見交換の中では、

- ・「診療科の選び方が分かりにくい」
- ・「待ち時間が長いとき、理由が分かるだけでも安心できる」
- ・「医師や職員の一言に救われたことがある」
- ・「在宅医療や看取りについて、もっと知る機会がほしい」

といった、日常の受診や暮らしの中で感じている率直な声が数多く寄せられました。

一方で、

- ・ボランティアによる玄関での声かけや介助への感謝
 - ・医師が丁寧に説明してくれたことへの安心感
 - ・健康相談や出前講座への期待
- など、病院と地域のつながりが少しずつ身近なものになってきていることを感じさせる声も多く聞かれました。

まちづくり工房うんなんは、こうした声を「要望」や「意見」として終わらせるのではなく、地域と病院が互いに理解し合い、より良い関係をつくるための対話の材料として大切にしています。医療者だけでできること、地域で工夫できること、組織として考える必要があること。それぞれを整理しながら、病院にも地域にも、できる形で丁寧に伝えていくことが、私たちNPOの役割だと考えています。顔を合わせて話し、声を聴き合うこと。その積み重ねが、安心して暮らせる地域医療につながっていくと信じています。

これからも、まちづくり工房うんなんは、「地域とつながる医療・福祉」を合言葉に、皆さんと一緒に歩んでいきます。



意見交換の様子

便利手帳▶

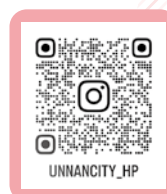
はじめました

Instagram

アカウント名 雲南市立病院
ユーザー名:unnancity_hp

雲南市立病院公式アカウント
を開設しました。
病院のさまざまな情報を発信
していきます。

二次元コードを読み込んでぜひフォローしてください。



あなたの健康をサポート♪

病院保健師からのご案内

日帰り人間ドックへ新たに「ドックD」を追加します！

令和8年度から、「人間ドックD」を追加します。従来の人間ドックに比べ、検査項目が増え、より詳しく調べることができます。検査内容は以下のとおりです。

日帰り人間ドックのご案内

日帰り人間ドック D
¥48,000 (税込み)

日帰り人間ドック A
¥38,500 (税込み)

日帰り人間ドック C
¥28,600 (税込み)

日帰り人間ドック B
¥14,300 (税込み)

すべて共通

・診察・身体測定・視力検査・聴力検査・尿検査・胸部レントゲン検査・心電図検査・血液検査(血液一般・肝機能・腎機能・脂質・糖質・尿酸)

D・A・C共通

・大腸がん検査(便潜血検査)・胃の検査(胃カメラまたは胃透視)・詳しい血液検査

D・A共通

・腹部超音波検査(肝臓・胆のう・膵臓・腎臓など)
・眼底・眼圧検査(眼の病気や動脈硬化の状態)
・肝炎(B型・C型)ウイルス検査

Dのみ

・呼吸機能検査
・動脈硬化検査(血圧脈波検査)
・骨粗しょう症検診(骨密度検査)
・超悪玉(sdLDL)コレステロール検査
・血液型などさらに詳しい血液検査

〈予約・問い合わせ先〉
雲南市立病院 保健推進課
Tel 0854-47-7510
気軽にお問い合わせください



市民健康講座

人生会議(ACP)について

3月3日(火) 14:00~16:00 (開場13:30)

場所:雲南市立病院 4階大会議室

講師:堀西 祐多医師

(雲南市立病院・平成記念病院)

・緩和ケア認定看護師(雲南市立病院)

人生会議とは、自分の生き方や人生の最期の迎え方について家族や親しい人達と話し合うことです。人生会議について一緒に学び、考えてみましょう。

【予約・問い合わせ先】
雲南市立病院 保健推進課 Tel0854-47-7510

糖尿病教室

糖尿病を予防するチエとワザ

3月12日(木) 13:30~15:30 (開場13:00)

場所:加茂交流センター

講師:三宅 仁美 医師(雲南市立病院 内科)

・長谷川英美 管理栄養士

・石原 智紀 理学療法士

・雲南市 保健師

専門のスタッフが、毎日の生活の中で無理なく続けられるポイントを分かりやすくお話します。

【予約・問い合わせ先】
雲南市立病院 保健推進課 Tel0854-47-7510
加茂交流センター Tel0854-49-8380

鳥獣対策 コーディネーターがゆく



鳥獣対策コーディネーター

やまだ としき
山田 稔紀

今回のテーマは「地域ぐるみの鳥獣被害対策」です。

対策をしても被害に遭う悪循環に陥っている地域はありませんか。

なぜそのようなことが起こるのでしょうか。さまざまな要因が考えられますが、被害対策の三本柱である「集落の環境整備」、「侵入防止対策」、「捕獲・駆除」の取り組みが十分でないと考えられます。管理されていない果樹や、収穫後に生えてきた稲の二番穂（「ひこばえ」とも呼ばれる）、利用価値がなく畑に放置された作物など、集落内に野生動物のエサとなるものが放置されていると、その地域は野生動物にとって条件の良い餌場になってしまい、頻繁に野生動物が出没するようになります。また、侵入防止に効果的な電気柵やワイヤーメッシュ柵は正しく設置した上で、定期的な維持管理を行わなければ効果を発揮しません。

▲サルにかじられた柿



鳥獣被害を防ぐには、「誰か一人」や「特定の人だけ」が努力するのではなく、地域全体で取り組むことが不可欠です。なぜ被害がなくならないのかを考え、その原因を一つ一つ取り除いていく作業に地域ぐるみで取り組むことが鳥獣被害を軽減させる近道です。

市内で「地域ぐるみの鳥獣被害対策」に取り組まれている地域とその内容を紹介します。

事例① 地域自主組織「雲見の里いいし」の取り組み

雲見の里いいしでは、鳥獣被害の調査・研究を行っている県の研究機関^(※)と連携しながら、地域の現状を知るための集落点検や学習会、実際に防護柵を設置する研修会を開催し、被害対策の知識と技術の習得に取り組まれています。令和7年度は全5回の研修会を開催されました。

- ①防護柵の適切な設置指導
- ②イノシシの生態と侵入防止対策について
- ③地域内にある適切な侵入防止対策事例の見学
- ④集落点検を行い地域内の対策課題を顕在化
- ⑤サルの生態と追い払い方法の研修



▲防護柵の適切な設置指導の様子



▲集落点検を行っている様子

※県の研究機関：島根県山間地域研究センター鳥獣対策科
ホームページ：<https://www.pref.shimane.lg.jp/chusankan/>

事例② 地域自主組織「田井地区振興協議会」の取り組み

田井地区振興協議会では、集落点検や放任果樹の除去などの環境整備に地域ぐるみで取り組まれています。

(1)集落の環境整備（令和7年1月）

県の「放任果樹等除去事業」を活用して、クマの出没抑制を目的に集落内にある放任果樹を伐採しました。また、田井地区はサルの生息エリアでもあるため、クマと並行してサル対策としての効果も期待しています。

除去実績：桑、柿、栗などの果樹を200本以上伐採

(2)集落点検の実施と環境整備（令和7年12月）

県や市の鳥獣対策担当職員と連携し、集落内の柚子、柿などの果樹を調査し、伐採や低木化を行うとともに、野生動物の隠れ場所となる草藪除去のため、山際の草刈りを行いました。



▲環境整備のための事前協議の様子



▲野生動物の隠れ場所となる草藪の除去を行っている様子



▲柚子の木を低木化している様子

事例③ 複数地域での取り組み

●煙火講習会の実施

追い払いの取り組みとして、市販の花火よりも大きな音（銃声に似せた爆発音）がする花火（煙火）を使用するための保安講習会を開催している地域もあります（毎年2月～5月ごろ開催）。

このコラムを読んで興味を持たれた方は、ぜひ林業振興課までご相談ください。地域自主組織などからの問い合わせもお待ちしています。

【問】林業振興課 Tel0854-40-1056

わが家の HOPE

3月で満1歳おめでとう



えはら ゆい
江原 結衣ちゃん（木次町）
守さん・有香さんのお子さん
結衣ちゃん1歳のお誕生日
おめでとう🎂
たくさん食べて、遊んで元気に育ってね🌟



こじま
小島 こはくちゃん（大東町）
光貴さん・みなみさんのお子さん
1歳おめでとう！👏
いつも笑顔のこはちゃんに癒されてるよ💖
これからも元気にすくすく大きくなってね🌟



はまむら とうり
濱村 橙李ちゃん（加茂町）
笑顔の可愛いとうりくん🌟みんなの癒しだよ💖 元気にすくすく育ってね😊
お誕生日おめでとう🎂



やまだ つむぎ
山田 紬ちゃん（三刀屋町）
稔紀さん・紗季さんのお子さん
誕生日おめでとう！毎日いろんな表情を見せてくれるつむちゃん！
これからの成長が楽しみです💖



わかづき みお
若槻 美桜ちゃん（加茂町）
お誕生日おめでとう🎂
いつも笑顔で癒しをありがとう💖
お兄ちゃんと仲良く元気に過ごしてね🌟

4月で満1歳（令和7年4月生まれ）のお子さんを募集！

写真に①お子さんの名前（ふりがな）、②お子さんの誕生日、③保護者の名前（ふりがな）、④保護者の名前の掲載希望の有無、⑤住所、⑥電話番号、⑦コメント（40字程度）を添え、郵便またはE-Mailで3月6日（金）までに広報広聴課へ送付ください。

郵送される場合の宛て先

〒699-1392 雲南市木次町里方 521-1
雲南市役所広報広聴課「わが家のHOPE」係

E-Mailを送られる場合の宛て先

kouhoukouchou@city.unnan.shimane.jp
（タイトルは「わが家のHOPE」としてください。）

【問】広報広聴課 Tel0854-40-1015

※スマートフォンで撮影される場合、顔のアップを撮影されると中にきれいにやさまらないことがありますのでご注意ください。

※市ホームページおよび子育てポータルサイトにも「わが家のHOPE」を掲載します。 ※お送りいただく個人情報は「わが家のHOPE」以外の目的には使用しません。

※郵便物またはメールが届きましたら、広報広聴課から「到着確認」の連絡をします。投稿後、当課から連絡がないときは問い合わせください。

子育てポータルサイト

ゆっくり、子育て。雲南市

子育て情報をひとまとめにしたサイトです。ぜひ、活用ください。

<http://kosodate-unnan.jp> または、右記の二次元コードから



市長コラム

「絆」



若い頃は、親の小言を煩わしく感じたものです。しかし、いざ親がいなくなると、そのありがたみを感じるものです。自治会や地域のつながり、仕事での人間関係も同じようなものではないでしょうか。そこにはパワーが必要で、その努力を通じて得られるものがあるはずです。

年初に地震がありました。が、災害時に助け合うのは誰でしょう。困ったときに助け合えるのは誰でしょう。

人間は他人という鏡を通じてしか自己の存在を実感できません。雲南市の皆さんがこれまで培ってきた「人と人とのつながり」は、幸甚に暮らすための大切な宝です。時代に合わせ、形を変えながらも守り続けて、「えすこな雲南市」を実現していきます。



このコーナーでは、日本一チャレンジに優しい教育環境で学ぶ市内高校生の姿を伝えていきます。
今回は、スペシャルチャレンジ・ジュニアプログラム※に参加する高校生の姿をお知らせします。

※高校生が雲南市を舞台に地域（他者）や社会のためのプロジェクトに取り組む特別なプログラム
（8期目を迎え、これまでに140人以上が参加）

「表現する楽しさ」と「異文化」を体感するイベントの開催

こどもたちに「絵を描くことを楽しいと感じてほしい」、「海外や地域の文化に触れてほしい」という思いから、2人の高校生が斐伊児童クラブでイベントを行いました。



こうのしろ けいた
上野城 慶汰さん（三刀屋高校1年生）

みんなでクリアファイルづくり！
プロジェクト

Q イベントで工夫したことは？

A 絵を描くことを「上手・下手」ではなく「楽しい」と感じてもらうことです。中学校の先生へのインタビューを参考に、参加者全員で一つの作品を制作しました。完成した作品はクリアファイルにして、こどもたちにプレゼントします。

Q イベントを終えての感想を教えてください

A とても緊張しましたが、無事にやりきることができました。こどもたちの笑顔を見ることができ、目標としていたことを達成できたと感じています。活動を通じて、「楽しい」を形にするためには事前準備が重要だと学びました。



▲参加者全員での集合写真



いしはら なな
石原 寧々さん（三刀屋高校1年生）

オーストラリア/パース異文化交流
プロジェクト

Q イベントで工夫したことは？

A オーストラリアの都市パースへ短期留学に行きました。留学で得た学びを一方向的に伝えるのではなく、こどもたちが主体的に参加できる内容を工夫しました。アボリジニ文化のクイズや出雲神楽の紹介を取り入れ、異文化や地域の魅力を伝えました。

Q イベントを終えての感想を教えてください

A 資料作成や協力者への依頼、チラシ作成などを通して、多くの経験を積むことができました。斐伊児童クラブの皆さんには、準備や運営面でご協力いただき、心より感謝しています。



▲地域の魅力を伝えるクイズ

国際交流員(CIR)スーキ・パチェコ・ジャン・ポールの異文化交流コーナー

マイストーリーズ My Stories

第51話：熱狂の3月

日本人もアメリカ人も、スポーツに対して情熱的であると感じます。

メジャーなスポーツはもちろんですが、学生スポーツというと、日本は高校スポーツ、アメリカは大学スポーツが熱いように感じます。アメリカの大学バスケットボールへの熱狂は、まるで日本人の高校野球への情熱に並ぶほどです。

スポーツに詳しくない僕でも、3月はアメリカの大学バスケットボールが一番盛り上がる月であると知っています。それは、「March Madness（熱狂の3月）」というトーナメントがあるからです。

1939年から開催されているこの大会は、選ばれた大学68校が優勝を競い合います。熱狂的になるのは、トーナメント方式による「勝ち残り」、すなわち「一回負けたら終わり」のルールだからです。そんなルールにおいては緊張する試合が多く、番狂わせが起きやすいです。

我が母校、インディアナ大学は、1940年から出場して

おり、これまで5回の優勝経験があります。1987年以降は優勝していないとはいえ、バスケットボールが強いチームとして今でも人気なのは、インディアナ大学出身として誇らしいです。



▲友人と久しぶりの再会で母校の試合を楽しみました



▲インディアナ大学のバスケットボールは熱い！

撮影：私の友人のジョン・ケリー（2枚とも）

Hello Unnan!

市内の
チャレンジを
応援して
ください!!

企業チャレンジ「株式会社アルpron」

市では令和元年度より、市内外の企業が雲南市を活動のフィールドとして、地域と協働しながら社会課題の解決をめざしたさまざまなチャレンジを行っています。

これまで18社と連携協定を締結しており、今回はその中のひとつ、加茂町に本店・工場を構えるプロテインメーカー「株式会社アルpron」が社会貢献として取り組む企業チャレンジを紹介します。

同社は今、地域の「環境」と「農業」を支える2つのプロジェクトを推進しています。

持続可能な農業と環境付加価値を雲南市から

地元の田んぼから脱炭素！「J-クレジット」の創出

稲作において、出穂前に田んぼの水を抜く「中干し」の期間を通常より7日間延長することで、土壌からのメタンガス排出を大幅に抑制します。この削減量はJ-クレジット※化により、新たな収益源として農家へ還元されます。

株式会社アルpronは市内の農家の皆さんと連携し、令和7年度は20団体（約210ha）が中干しプロジェクトを実施されました。

令和8年度は、30団体（約450ha）の参加を目標に、今後も地球温暖化防止と持続可能な農業経営の両立をめざしチャレンジが続けられます。



中干し中の田んぼ

※ J-クレジット：削減された温室効果ガスの量を「クレジット」として国が認証する制度

【プロジェクトに参加した農家さんの声】

・環境に配慮した米作りは、国からの活動支援もあり、これからの時代は当たり前になっていくと思います。
・書類づくりが面倒かと思いましたが、アルpronさんにサポートしていただき、想像よりも手間なくできました。

・中干し期間を7日間延長したことで、収穫直前まで水を田んぼに入れてもぬかるむことなく稲刈りができると同時に、乳白米対策ができたように感じました。



興味がある方はぜひご連絡ください。

【連絡先】株式会社アルpron ☒ zero-carbon@alpron.co.jp

市では今後も官民連携の取り組みを通じてさまざまなチャレンジを応援していきます。

【問】政策推進課 Tel 0854-40-1011 / 環境政策課 Tel 0854-40-1033



市役所からのお知らせ

暮らし・手続き

引っ越しの際は住所の異動届を忘れずに

市民生活課

Tel 0854-40-1031

入学・就職・転勤などによる引っ越しで、住所を異動される方は正確な住所の届出が必要です。

電子証明書が有効なマイナンバーカードをお持ちの方は、マイナンバーを通じたオンラインでの転出届が可能です。このサービスを利用される方は、転出にあたり雲南市への来庁が原則不要となります。国内での引っ越しをされる方にご利用いただけます。

※マイナンバーを通じて転出届の提出をした後は、別途、転入先市区町村の窓口で転入届などの手続きが必要です。

詳しくはデジタル庁ホームページをご確認ください。

(https://www.digital.go.jp/policies/moving_onesstop-service/)



〈デジタル庁ホームページ〉

軽自動車・原付などの異動手続きはお早めに

税務課

Tel 0854-40-1034

軽自動車税種別割は、毎年4月1日現在で軽自動車・原動機付自転車などを所有している方に課税されます。

軽自動車、原動機付自転車などを処分や譲渡したとき、その手続きをしないまま4月1日を経過した場合、前年度に引き続き令和8年度分が課税されますので、**3月中に手続き**をお願いします。

※所有者の都合でしばらく使用していないという理由では、廃車できません。

軽自動車税種別割の納期は5月末です。税額は5月中旬にお知らせします。

今月の税金

- 国民健康保険料【第9期】
 - 後期高齢者医療保険料【第9期】
- 納期限は3月31日(火)です。

口座振替の方は、前日までに残高を確認してください。

車 種	手続きについての問い合わせ先
原動機付自転車(125cc以下)・小型特殊自動車	税務課 総合センター 市民福祉課・市民サポート課
軽二輪 (125cc超～250cc以下)	中国運輸局島根運輸支局 ヘルプデスク Tel 050-5540-2071
二輪小型自動車 (250cc超)	
軽三輪・軽四輪自動車	軽自動車検査協会島根事務所 Tel 050-3816-3083(コールセンター)

手続きの際は、左記の問い合わせ先先に直接お問い合わせください。

狂犬病予防集合注射

環境政策課

Tel 0854-40-1033

犬を飼育するときは、狂犬病予防法に基づき、市へ登録しなければなりません。

令和8年度の集合注射の日程は次のとおりです。都合をつけてお出掛けください。飼い主には狂犬病予防注射を毎年受けさせる義務があります。

時間・場所は、市ホームページやケーブルテレビのデータ放送で3月中旬より確認できます。飼い主の方へは別途はがきにより案内します。

地 域	実 施 日
大 東 町	4月16日、17日
加 茂 町	4月24日
木 次 町	4月7日、8日
三刀屋町	4月21日、22日
吉 田 町	4月14日 (川手地区は4月8日)
掛 合 町	4月10日

【持ってきていただくもの】
■登録が済んでいる場合

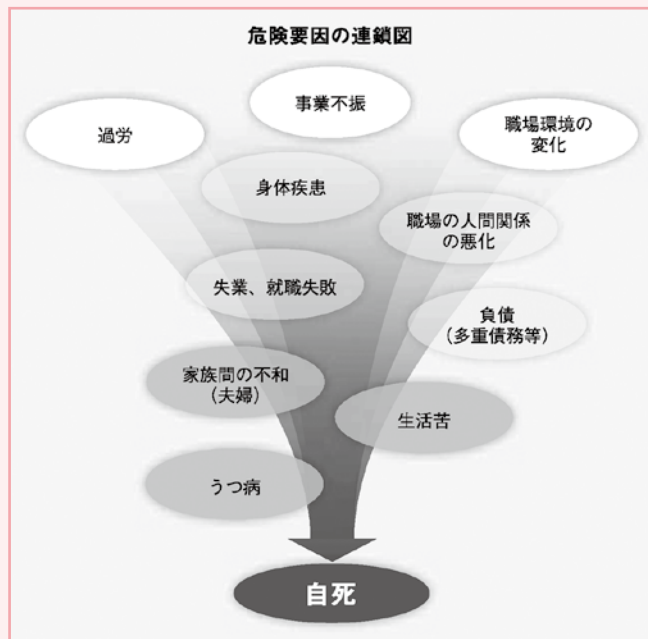
- ・1頭につき、予防注射料 3100円(注射料金 2500円、注射済票交付手数料600円)
- ・案内はがき
- 新規に登録する場合
- ・1頭につき、料金6100円(1頭の登録料3千円、注射料金2500円、注射済票交付手数料600円)
- 【お願い】
- ・犬の咬傷事故は飼い主の責任です。必ず犬の管理ができる方が連れて来てくださいます。
- ・会場では犬同士を近づけないようにしてください。
- ・犬の首輪や胴輪などが抜けないよう、しっかりと装着してください。リードは伸び縮みしないものにしてください。
- ・犬のフンは必ず持ち帰って処理してください。
- ・都合がつかず、市の集合注射を利用されなかった場合は、市内外の動物病院で狂犬病予防注射の接種を受けるはがきと予防注射の接種証明書を市窓口に出してください。

3月は「自死対策強化月間」です

日本の成人の約20%が、生涯に1度はこころの病気を経験しています。

こころの病気は誰でもかかりうるものと言えます。さまざまな悩みが重なると、誰でも「心が苦しい」、「生きるのがつらい」といった気持ちになるかもしれません。

自死の多くは、個人の自由な意思や選択の結果ではなく、追い込まれた末の死と言われています。だからこそ、自死の多くは社会の適切な支援により防ぐことができます。



出典：ゲートキーパー手帳（島根県版）
(参考：NPO法人自殺対策支援センターライフリンク)

不安や気分の落ち込みなどが、普段感じるよりも強く、長引き、生活に支障を来してしまった状態になったら、こころの病気が心配です。健康推進課の保健師までご相談ください。まずはお話を聞かせていただき、どのように対処すればよいか、どんな過ごし方ができるのか、一緒に考えていきましょう。



「こころの健康相談」

電話で「保健師につないでください」とお伝えください。

Tel 0854-40-1045

時間 平日 8:30～17:15

来所での相談を希望される場合も、事前に電話でご連絡ください。

【問い合わせ先】健康推進課 Tel0854-40-1045

健康づくり資料の制作

研究所うんなんでは、健康教室や研究活動の他にも、健康づくりに役立つ資料制作に取り組んでいます。健康づくりの大切さをより分かりやすく伝えるために、市民の皆さんの実際の生活や気持ちを手掛かりとして、これまでさまざまなチラシ・ポスター・小冊子・動画などを制作してきました。

資料のテーマと内容は、世代や対象によってさまざまです。過去の制作資料は、「乳幼児の歯みがき」、「こどもの運動あそび」、「産後女性の腰痛・肩こり」、「子育て応援ストレッチ」、「減塩」、「食品摂取多様性」、「職場でのリフレッシュ法」、「介護職員の腰痛予防」など、多世代・多分野にわたっています。



資料制作の話し合い

研究所うんなんはこれからも、市民の皆さんの声に耳を傾けながら、健康づくりに役立つよりよい資料作りに取り組んでいます。

制作過程では、より実践につながりやすい資料作りのために、所員をはじめ、市の関係部局や関係機関とも連携・協力し、何度も話し合いを重ねて企画していきます。その際、最も重視するのは実際に資料を手にする市民の皆さんの暮らしの様子や声です。情報を届きたい市民像を明確にすることで、どういう媒体で発信するか、どういうキャラクターやデザインにするか、といった具体的な資料イメージを作っていきます。大まかな資料イメージができた段階で、対象となる市民の方々と直接話を聞いたりアンケートを行ったりすることにより、その声を反映させながら資料を完成させていきます。

資料制作のプロセス



健康づくりに役立つ情報や、研究所うんなんの活動を紹介！
身体教育医学研究所うんなん (Tel 0854-49-9050)

※この二次元コードをスマートフォンなどで読み取ると研究所ホームページが閲覧できます。

口座振替の手続きはお早めに！

市では税金や保険料などの納付には、安心・便利な口座振替をお薦めしています。固定資産税と軽自動車税の口座振替の申し込みは3月中の手続きをお薦めします。

【申込方法】

1. 雲南市役所本庁舎、総合センター、市内の利用可能金融機関窓口にて備えてある「雲南市口座振替依頼書・自動払込利用申込書」に必要事項を記入、押印します。

【利用可能金融機関】 山陰合同銀行・島根県農業協同組合・島根銀行・しまね信用金庫・中国労働金庫・ゆうちょ銀行

2. 振替を希望する金融機関の窓口にて提出します。

【注意事項】

1. 申込書提出から、口座振替可能になるまで、約2ヵ月の期間が必要です。
2. 振替日は、毎月月末です（12月は25日）。振替日が金融機関の休業日の場合、翌営業日となります。月末に振替できなかった場合は、再振替（翌月15日）を行います。口座残高が不足していると振替ができませんので、振替日前日までに振替口座の残高を確認してください。
3. 随時分期や納期限を過ぎたもの（再振替でも振替できなかったもの）は、口座振替の対象外となります。
4. 申込書の振替方法は「1 期別」か「全期前納」のいずれかを選択してください（市県民税、固定資産税のみ）。年額（年4期）をまとめて第1期に納付したい場合は「2 全期前納」を選択してください。
5. 申込書の通帳届出印が口座振替の指定口座の届出印であることを確認してください。
6. その他注意事項、確約事項は申込書を確認してください。

【問】 債権管理対策課 Tel 0854-40-1035

幅員が狭い道路の法定速度が **30** に変わります

重大事故発生を抑止するために最高速度が変わります → 9月1日から

最高速度規制がない道路は、幅員が狭い道路でも最高速度は60km/hですが、幅員が狭い道路での**重大事故の発生を減少**させ、**安全対策を図る**ことを目的に、道路交通法施行令が改正・公布されました。

中央線のない幅員が狭い道路の例



この場合、標識があるため「40km/h」



この場合、標識がないため「30km/h」

速度が30km/hを超えると
重大な傷害を負う確率が急上昇



速度を制御して幅員が
狭い道路の安全を確保

【問】 雲南警察署交通課
Tel 0854-45-0110

※中央線や中央分離帯がある道路の法定速度は引き続き60km/hです。

※中央線のない幅員が狭い道路でも、最高速度規制が実施されていればその速度規制が優先されます。

【問】 暮らし安全室 Tel 0854-40-1027

毎月第3日曜日は

うなん家庭の日

家族で取り組める活動を市公式の
Facebook、LINEアカウントで配信中！

3月15日(日)

社会教育課 Tel 0854-40-1073

浄化槽は送風機の
常時運転が必要で
す。
下水道課
Tel 0854-42-3471
浄化槽を正しくお使いいた
だくためには送風機（※）の
常時運転が必要です。
転出や転居により空き家な
どとなる場合でも送風機の電
源は切らないでください。
ただし、半年以上使用され
ない場合は、休止などの手続
きをします。送風機が動かな
い、異音が生じるなどの場合も
下水道課にご連絡ください。
※浄化槽内にある汚水中の有
機物を微生物の働きによっ
て分解浄化するためには空
気が必要であり、その空気
を浄化槽へ送るための装置
が送風機です。

デジタル防災無線戸別受信機（防災ラジオ）の申請はお済みですか？

～引っ越しの際は手続きが必要です～

戸別受信機（防災ラジオ）は、市内に居住される世帯につき1台を無償で貸与しているほか、市内の事業所や2台目以降の戸別受信機を希望される世帯には、有償（標準型 21,450 円、文字表示機能付 36,300 円）により譲渡しています。申請手続きをされていない方は、市ホームページなどを確認の上、申請書類を防災安全課か総合センター自治振興課・市民サポート課のいずれかに提出してください（申請書は市ホームページからも取得できます）。

■ 転出・転居するときは

◆ 市外へ転出される場合

世帯全員が市外へ転出される場合は、防災安全課か総合センターへ戸別受信機を返却してください。

◆ 市内で転居される場合

戸別受信機（防災ラジオ）は地域自主組織ごとに地域設定されており、設定変更が必要な場合があります。戸別受信機を持参の上、防災安全課か総合センターで手続きをお願いします（同じ地域内での転居の場合、設定変更の必要はありません）。

■ 確認をお願いします

戸別受信機（防災ラジオ）に、①アンテナ、②乾電池、③ACアダプタが正しく取り付けられているか、電源コンセントに常時接続してあるか確認してください（乾電池のみの場合は、3日程度で電池が消耗します）。

■ 故障したとき・受信できないときは

「防災ラジオコールセンター 0120-388-280（24時間対応）」に連絡してください。
連絡先は戸別受信機（防災ラジオ）の裏面にも表示してあります。

戸別受信機（標準型）



〈市ホームページ〉

【問】 防災安全課 Tel 0854-40-1027

ニセ警察官に注意！ 警察官をかたった特殊詐欺急増中！

令和7年中、全国的に警察官をかたった特殊詐欺の被害が急増し、SNS型投資詐欺やロマンス詐欺を合わせると、県内における令和7年の被害額は**10億円**を超えています。

警察官が、

- 捜査などの名目でお金を要求してきた。
- SNSで連絡をしてきた。
- ビデオ通話で警察手帳や逮捕状を見せてきた。



これらの場合は **ニセ警察官による詐欺** です。

身に覚えがないことや、少しでも不審に思えば、
最寄りの警察署、交番、駐在所へ相談してください。

問い合わせ

雲南警察署生活安全課
Tel 0854-45-0110

【問】 暮らし安全室 Tel 0854-40-1027

掛合広域交番での運転免許更新日が変わります

くらし安全室

Tel 0854・40・1027

4月から掛合広域交番での運転免許更新日が変わられます。

【変更内容】

3月まで

毎週木曜日

4月以降

第1・第3木曜日

※第1・第3木曜日が祝・休日の場合は、翌日が更新日になります。

※受付時間は変更ありません。

午前・8時30分から11時30分まで

午後・13時から16時まで

【問い合わせ先】

雲南警察署交通課

Tel 0854・45・0110

毎月19日は食育の日

和食文化を伝えよう



地域の郷土料理や伝統料理などの食文化を大切に、次の世代への継承を図りましょう。
【出典：農林水産省】

健康推進課 Tel 0854-40-1045

子育て・保健・福祉

令和7年度
がん検診・特定健診

健康推進課

Tel 0854・40・1045

医療機関で受診する個別がん検診、特定健診などの実施期間は3月末までです。今年度まだ受診していない方は、早めに受診しましょう。

■個別がん検診

大腸がん検診、乳がん検診、子宮頸がん検診

対象は次の方です。

【大腸がん検診】

40歳以上の方

【乳がん検診】

40歳以上の方で、昨年度市が実施する乳がん検診を受けていない方

【子宮頸がん検診】

20歳以上の方

※個別胃がん検診のみ受け付けは終了しました。

■個別特定健診など

対象は国民健康保険、後期高齢者医療保険に加入している方です。受診券が必要です。

紛失した方はお問い合わせください。

対象は国民健康保険、後期高齢者医療保険に加入している方です。受診券が必要です。紛失した方はお問い合わせください。

いずれも既に今年度受診された方は対象外です。

詳しくは、「令和7年度雲南市成人健診（検診）のしおり」をご確認ください。成人健診のしおりは市ホームページで確認できます。



〈市ホームページ〉



塩分をひかえるコツ うなん愛の減塩プロジェクト

急に薄味にしない

塩分はゆっくり減らし、うま味のある出汁、香辛料や薬味を使いながら薄味に慣れましょう。

【問】健康推進課 Tel 0854-40-1045

「第3期雲南市観光振興計画（案）」のパブリックコメント（意見募集）

市の観光振興施策を推進するための第3期雲南市観光振興計画（案）を策定しています。この計画に対する市民の皆さんの意見を寄せてください。

寄せていただいた意見は、意見に対する考えを整理して公表します。※個別の回答は行いません。

【意見募集期間】 3月18日（水）まで

【縦覧方法】 (1) 雲南市役所本庁舎4階産業観光部、各総合センター
(2) うなん観光案内所（中心市街地活性化施設コトリエット内）
※観光振興課はうなん観光案内所内にあります。
(3) 市ホームページ

【提出方法】 所定の様式により、住所、氏名、連絡先を記入のうえ、観光振興課に持参していただくか、郵便、ファクシミリ、メール（word形式のデータ 要添付）のいずれかで送付してください。

※電話による受け付けは行いません。 ※郵送の場合、3月13日（金）消印有効。

【結果の公表】 3月下旬（予定）

【問い合わせ・意見提出先】 雲南市産業観光部観光振興課（コトリエット内）
〒690-2404 雲南市三刀屋町三刀屋73番地3 Fax 0854-47-7879（Tel 0854-40-1054）
メールアドレス：kankoushinkou@city.unnan.shimane.jp

【問】観光振興課 Tel 0854-40-1054

イベント情報

難病医療

講演会・交流会

長寿障がい福祉課

Tel 0854・40・1042

しまね難病相談支援センターでは、特発性間質性肺炎の患者や家族、その支援者などを対象に、難病医療講演会・交流会を開催されます。

参加には事前申し込みが必要です。詳しくはしまね難病相談支援センターに問い合わせください。

【日時】 3月26日（木）14時から16時まで

【場所】 出雲保健所（出雲市）

※講演のみ県内の各保健所でオンライン受講が可能です。

【参加費】 無料

【申込締切日】 3月12日（木）

【問い合わせ・申込先】

しまね難病相談支援センター

Tel 0853・24・8510

住まいの終活

遺言書作成体験会

うなん暮らし推進課

Tel 0854・40・1014

遺言書の作成体験を通して、住まいの終活を考え、自身の意思を整理するきっかけづくりの場とし、家族との話し合いや専門家への相談など、今後の具体的な行動につなげていただくことを目的に、住まいの終活遺言書作成体験会を開催します。詳細は市ホームページでご確認ください。

【日時】 3月8日（日）10時から12時まで

【場所】 雲南市役所

【参加費】 無料

【定員】 10人程度（要予約）

【予約方法】

電話かメールのいずれか。

☐unnangurash@city.unnan.shimane.jp

☐unnangurash@city.unnan.shimane.jp



〈市ホームページ〉



図書館だより

市立図書室の利用案内

三刀屋図書室（永井隆記念館内）
電話：0854-45-2239
開館時間：9:00～17:00
休館日：毎週月曜日、24日(火)

吉田図書室（吉田交流センター内）
電話：0854-74-0219
開館時間：8:30～17:00
休館日：毎週土・日曜日、祝日

掛合図書センター“陽だまり館”
（掛合交流センター内）
電話：0854-62-0189
開館時間：火・金曜日 8:30～18:00
水・木・土曜日 8:30～17:00
休館日：毎週日・月曜日、祝日

市立図書館の利用案内

木次図書館 Tel0854-42-1021 開館時間：10:00～18:00
3月の休館日 毎週月曜日、20日（金・祝）、図書整理日：31日(火)
イベント案内 ☆よみかたりのじかん 14日(土) 10:30～11:00



大東図書館 Tel0854-43-6131 開館時間：10:00～18:00
3月の休館日 毎週金曜日、振替休館日：21日(土)、図書整理日：31日(火)
イベント案内 ☆ゲームでたんか 8日(日) 10:30～11:30（要申し込み）
☆こぐまちゃんくらぶ（わらべうた遊びの会 対象：乳幼児とその家族）
16日(月)10:30～（30分程度）（要申し込み）
＊毎週月曜日午前中（10:00～12:00）は「いいよのじかん」です。



市立図書館
ホームページ

加茂図書館 Tel0854-49-8739 開館時間：10:00～18:00
3月の休館日 毎週木曜日、20日（金・祝）、図書整理日：31日(火)
イベント案内 ☆おはなしたまごのおはなし会 1日(日) 11:00～11:40（要申し込み）
☆おりがみでかざりづくり 14日(土) 10:30～12:00（要申し込み）



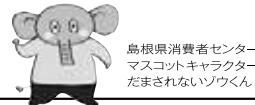
市立図書館
Facebook

新着の本(抄) 市内図書館どこでも借りることができます。貸し出し中の場合は予約（取り寄せ含む）
ができます。各館へ問い合わせください。本の検索には、上記二次元コードの市立図書館
ホームページ《蔵書検索》を利用してください。

▼犬丸幸平「最後の皇帝と謎解きを」▼渡辺 優「女王様の電話番」▼森 バジル「探偵小石は恋しない」
▼石川智健「エレガンス」▼北山猛邦「神の光」▼原田マハ「晴れの日の木馬たち」▼額賀 滯「願わく
ば海の底で」▼高瀬乃一「うらぎり長屋」▼村木 嵐「雀ちよっちょ」▼砂原浩太郎「武家女人記」▼江
國香織「ブーズたち鳥たちわたしたち」▼水生大海「メゾン美甘食堂」▼津村記久子「サキの忘れ物」▼
長月大音「銀座ちぐさ百貨店③」▼山口恵似子「ゆうれい居酒屋⑫」▼坂井希久子「花暦居酒屋ぜんや⑨」
▼望月麻衣「京都寺町三条のホームズ⑫」▼野口 卓「おやこ相談屋雑記帳⑦」▼堀 辰雄「燃ゆる類 乙
女の本棚」▼江戸川乱歩「鏡地獄 乙女の本棚」▼サイモン・ヴァン・ブーイ「83歳、もふもふのネズ
ミを拾う。そして人生が変わる。」▼イ オクソン「老後ひとり、暮らしています。」▼辻村（横山）みよ
子「自分の力で歩きたい」▼谷川俊太郎「ひとりでこの世に」▼利根川 裕「あらずじと写真でわかる！
はじめての歌舞伎」▼養老孟司、中川恵一「病氣と折り合う芸がいる」▼唐沢かおり「『気が利く』とは
どういうことか」▼岡野 民「あの時のわたし」▼石村由起子「わたしの食器棚」▼出口治明「ビジネス
名著50選」▼村瀬孝生「ぼけてもいいよ 増補新版」▼川内有緒「ロココ・キッチン」▼ヘンリー・ジー
「人類帝国衰亡史」▼選挙ウォッチャーちだい「『NHK から国民を守る党』とは何だったのか？」▼斎藤
公男 ほか「驚嘆の構造図鑑」▼岩波書店編集部「私の戦後80年、そしてこれからのために」▼山口千恵
子「ベビーマッサージ&赤ちゃん体操」

その他

くらしの消費生活窓口



不要なオプションが付けられていた!? 携帯電話の契約は慎重に

内 容

・携帯電話の機種変更のために携帯電話ショップに出掛け、現在契約中の会社と同系列の通信事業者が
提供する端末を熱心に薦められ契約した。その後、契約書を確認したところ、断ったはずのオプショ
ンなどが付けられているうえに、セキュリティソフトも契約させられていた。納得できない。
(60歳代)

ひとこと助言

・携帯電話の買い替えなどの際、不要なオプションを付けられていたといった相談が寄せられています。
・契約の際には、契約内容をしっかり確認し、よく分からない場合には契約しないようにしましょう。
オプションなどを薦められた際も、必要ない場合はきっぱり断りましょう。
・契約書もその場でよく確認し、不要な契約がないか、月々の支払いはいくらになるかなどを確認しま
しょう。
・不要なオプションを契約させられている場合は、すぐに携帯電話ショップに解約を申し出ましょう。

○困ったときは、一人で悩まずに、すぐに雲南市消費生活センターなど（消費者ホットラインは局番
なしの188）に相談してください。

【相談・問・出前講座依頼先】雲南市消費生活センター Tel 0854-40-1123 Fax 0854-40-1039

日本遺産シリーズ

出雲國たたら風土記～鉄づくり千年が生んだ物語～

地域に点在する文化や風習、文化財などを一つの「ストーリー」として文化庁が認定してい
る日本遺産。そんな日本遺産に、この地域のたたら製鉄（日本古来の鉄づくり）に関するストー
リーが「出雲國たたら風土記～鉄づくり千年が生んだ物語～」として認定されています。

ここでは、日本遺産の構成地域である安来市・雲南市・奥出雲町が共同して、日本遺産の構
成文化財を紹介します。

「田部家土蔵群と吉田の町並み」（雲南市）

田部家土蔵群は、吉田の町の中心部にある田部家の白壁土蔵群です。現代ではあまり見られ
なくなったなまこ壁の重厚な土蔵が並びます。
田部家は、松江藩の三大鉄師の一つに数えられ、町の周辺に鉄の生産拠点を複数所有し、できた
鉄を割鉄（包丁鉄）に加工する大鍛冶の拠点を本
宅のそばに設けて、一体的に経営していました。

現在、周辺には田部家のたたら吹きでできた
鍋から作られた鉄製品を扱う「鐵泉堂」や、鉄
の歴史を学べる「鉄の歴史博物館」、古民家を
活用した宿泊施設「RITA雲南吉田」などが
あり、町歩きも楽しめます。



田部家土蔵群

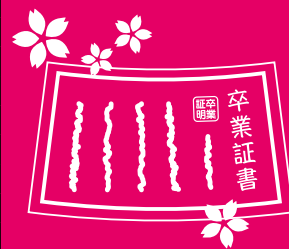
【問】観光振興課 Tel 0854-40-1054

INFORMATION

3月議会

【問】議会事務局 Tel.0854-40-1004

雲南市議会3月定例会 ※日程は変更する場合があります。			
本会議（開会・市長所信表明・議案上程・説明）	2日(月)	9:30～	議 場
本会議（議案質疑）	3日(火)	9:30～	
本会議（会派代表質問・一般質問）	4日(水)	9:30～	
本会議（一般質問）	5日(木)～9日(月)	9:30～	
予算審査特別委員会	9日(月)	本会議終了後	
産業建設常任委員会	10日(火)・11日(水)	9:30～	全員協議会室
教育民生常任委員会	12日(木)・13日(金)	9:30～	
総務常任委員会	16日(月)・17日(火)	9:30～	
予算審査特別委員会	19日(木)	9:30～	
本会議（委員長報告・討論・採決・閉会）	23日(月)	13:30～	
			議 場



尾原ダムフレストゲート点検放流イベント

と き 3月7日(土) 10:00～15:00

ところ 尾原ダム周辺

※堤体上道路は8:00～16:00まで車両の通行規制がされます。

内 容

点検放流の見学会・飲食出店・パフォーマンス（ダンス・吹奏楽など）・体験プログラム ほか

【問】NPO法人さくらおろち Tel.0854-48-9050

スペシャルチャレンジ実践報告会&えすこ会議

と き 3月22日(日) 10:00～15:30

ところ 雲南市役所本庁舎

内 容

午前) スペシャルチャレンジ制度の採択を受け、実践した内容を報告します。

午後) えすこ会議（「雲南の暮らしの再構築」、「雲南を学ぶ・いかす」、「雲南ならではの価値創出」のテーマで対話を行います）。

【問】政策推進課 Tel.0854-40-1011

瑞風バス運行日程と一部行程変更のお知らせ

トワイライト エクスプレス みずかぜ
JR西日本の「TWILIGHT EXPRESS 瑞風」の雲南市への立ち寄り観光は、「たたら製鉄の遺構と茶の湯文化・松江の探訪」と題し、2泊3日の山陽・山陰コース（周遊）の2日目になります。

なお、「神楽の宿」屋根修繕工事に伴い、4月から行程が下記のとおり変更になります。

※瑞風バスによる市内の立ち寄り観光は、道路や気象などの状況により変更される場合があります。

3月～5月の立ち寄り観光の予定日(いずれも木曜日)

3月:立ち寄りなし 4月:2日、9日、16日、23日 5月:14日、21日、28日

立ち寄り観光の行程

「TWILIGHT EXPRESS瑞風」(宍道駅7:54着)

8:10ごろ 瑞風バス宍道駅発

↓ ～ 宍道 ～ 国道54号（市役所前8:30ごろ）～ 三刀屋木次IC ～ 吉田掛合IC

9:10ごろ ●「菅谷たたら山内」見学（～9:50ごろまで） ●「田部家邸内、土蔵群」見学（～11:15ごろまで）
11:15ごろ

↓ ～ 吉田掛合IC ～ 三刀屋木次IC ～ 木次大橋（11:35ごろ通過）～ 木次駅 ～ 来次神社前 ～ 日登

11:50ごろ ●「食の杜 かやぶきの家」昼食

13:00ごろ

↓ ～ 飯石広域農道 ～ 県道松江木次線

13:30ごろ ●「古代鉄歌謡館」出雲神楽鑑賞

14:30ごろ

↓ ～ 県道松江木次線

15:00ごろ 明々庵（松江市）

16:15ごろ 「TWILIGHT EXPRESS瑞風」乗車（松江駅）



【問】観光振興課 Tel. 0854-40-1054

●市報うんなん No.256 2026年3月発行

発行・編集／雲南市役所 政策企画部 広報広聴課

〒699-1392 雲南市木次町里方521-1

Tel. 0854-40-1015 Fax 0854-40-1029

E-mail unnan-city@city.unnan.shimane.jp

市報うんなんに対するご意見、ご感想をお寄せください。

人 口・・・33,754人（－49人）

男 性・・・16,380人（－26人）

女 性・・・17,374人（－23人）

世帯数・・・13,569世帯（－2世帯）

令和8年2月1日現在（先月比）



この印刷物は環境に配慮し、大豆油にかわり米ぬか油を使用したライスインキで印刷しています。